

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、P4でご紹介している挿絵画家酒井理恵子氏による熱海百景絵はがき原画「東洋のモナコ」



## LINE UP

ラインナップ

### **S** 【特集1】この秋、熱海芸術にふれてみませんか・・・P2

熱海は、昔も今も多くの人たちが訪れるまち。熱海の人々の優しさや魅力は多くの芸術家たちの創作にも影響を与えました。今回の特集は、「熱海芸術」。今年、開館30周年を迎える「澤田政廣記念美術館」や開館10周年を迎える「池田満寿夫記念館」、10月に開催される「熱海芸術祭」についてご紹介します。

### **E** 【イベント】9月～11月の主なイベントをご紹介します・・・P4

◇熱海梅園もみじまつり ◇熱海おさかなフェスティバル ◇熱海百景絵はがき原画展

### **A** 【熱海のココスキ!!】「熱海は、自然とオシャレができる街」・・・P5

元パリコレモデル、現在モデル・ウォーキング講師の田中レーヌさんに熱海の街の魅力や熱海のココスキ!!について伺いました。

熱海は、昔も今も多くの人たちが訪れるまち。豊かな温泉、美しい海と海岸線、目に優しい山の緑、熱海の街に魅せられ、熱海の人々の優しさや自然の持つパワーを作品という形に残した人たちがたくさんいました。それは、現代も変わらず、熱海で活躍する多くの芸術家たちがいます。今回の特集は、「熱海芸術」です。自分の目、耳、心で作品を感じ、熱海芸術にふれてみませんか。

熱海市所蔵 →

横山大観「伊豆の富士」

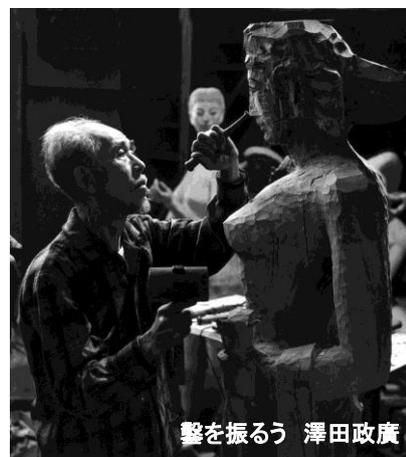


### 熱海に魅了された偉人たち

熱海には多くの人々が訪れ、そして多くの人々が熱海を愛しました。江戸時代には徳川将軍家に樽に詰められた「温泉」をいくつも運び、江戸の住む人々のあこがれの温泉地でした。明治維新をきっかけに、時運に乗る実業家が競って熱海を訪れるようになり伊藤博文、大隈重信、五代友厚などが集い、政局を左右するような会談も開かれる場となりました。その後、明治政府の要人や財界人の間で熱海に別荘を持つことが流行し、熱海御用邸をはじめ、蜂須賀公爵家、陸軍大臣三浦観樹将軍の別荘、財界からは三井家や岩崎家、根津家など当時の一流の人たちの社交場ともなっていました。そのような中で、永井荷風、志賀直哉、谷崎潤一郎などの文豪たちは執筆活動で居を構え、芸術を志す日本画の大家である横山大観、洋画家の梅原龍三郎や宮本三郎、彫刻家の平櫛田中などが熱海の地にアトリエを構えました。彼らは、熱海という風光明媚で温かな地に、心ほどこけ、癒され、感性が引き出され、「作品にする」、「決断する」などの形や答えに導かれたのではないのでしょうか。「目に見えない熱海のパワーを形に変えていく」これは昔も今も変わらず芸術というジャンルにも影響を与えていることでしょう。

### 生涯鑿を振るい続けた 文化勲章受章芸術家 澤田政廣

熱海市で最初の名誉市民であり、文化勲章受賞芸術家である彫刻家澤田政廣は、熱海の海辺に育ち19歳で彫刻家を志し、高村光雲の高弟山本瑞雲に師事しました。昭和48年には文化功労者として顕彰。翌年、熱海市で最初の名誉市民になりました。また、昭和54年には栄えある文化勲章を受章し、昭和63年、93歳で亡くなるまで、後進の指導にあたり、最後まで鑿を振るい続け多くの木彫作品をはじめ絵画・墨彩・陶芸・版画・書など、さまざまな芸術の領域にわたり創作しました。



鑿を振るう 澤田政廣

#### ●澤田政廣記念美術館開館 30 周年特別企画

昭和 62 年 11 月3日に開館した澤田政廣記念美術館が今年で開館 30 周年を迎えます。政廣の力強く生命感と詩情に溢れた作品の特別展示や市内作品巡りなどの特別企画を12月17日(日)まで開催しています。

#### ◆澤田政廣市内作品巡り

熱海市内に点在する澤田政廣の作品を3カ所で撮影、美術館にて写真をご提示いただいた入館者にオリジナルトートバッグをプレゼントします。

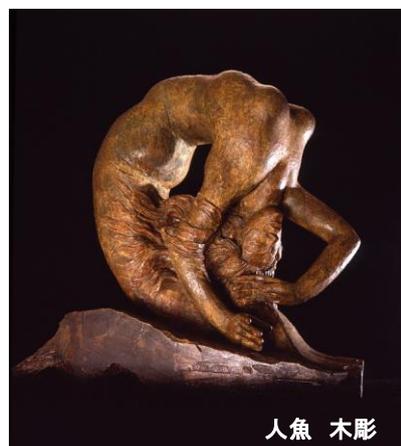


飛天 ステンドグラス

#### ◆澤田政廣記念美術館特別展示「鑿の世界」

休館日：毎週月曜(祝日の場合は開館)

入館料金：大人 320 円 中学・高校生 210 円



人魚 木彫



## あらゆる分野で活躍した 多彩な芸術家 池田満寿夫

多才な芸術家池田満寿夫は、昭和 31 年最初の銅版画集を刊行し、昭和 35 年第2回国際版画展では文部大臣賞、昭和 52 年には「エーグ海に捧ぐ」が第 77 回芥川賞を受賞するなど国際的版画家、画家、彫刻家、作家、エッセイスト、映画監督など、芸術のあらゆる分野で活躍しました。昭和 57 年には、熱海市に生活と芸術活動の拠点を移し、より高い芸術の域を目指し、常に前進と改革を続けてきました。平成9年、63 歳で逝去し、現在、下多賀の「池田満寿夫記念館」と海光町の「池田満寿夫・佐藤陽子創作の家」で作品を公開しています。

### ●池田満寿夫記念館開館 10 周年特別展

今年は、池田満寿夫没後 20 年となり、平成 19 年 11 月3日に開館した池田満寿夫記念館は今年で開館 10 周年を迎え、特別企画展を開催しています。

#### ◆池田満寿夫記念館 企画展 ●「ヴァイオリニスト 佐藤陽子と出会ってから」

開館日: 土・日・月曜・祝日 入館料金: 大人 510 円 中学・高校生 300 円

#### ◆池田満寿夫・佐藤陽子創作の家 企画展 平成 30 年 1 月 22 日まで

●「ヴェネツィア・ビエンナーレ大賞受賞作品展」\*期間中、展示作品の変更あり

●「ミュージシャン「尾崎豊」を描いたデッサン画」

休館日: 毎週火曜(祝日の場合は開館) 入館料金: 大人 300 円 中学・高校生 200 円



作品: 夏の夢



池田満寿夫



作品: スプリング・アンド・スプリングス



◆お問合せ 文化施設室

TEL 0557-81-6231

## 今秋は、「熱海芸術祭」開催!

昔も今も多くの文化人、芸術家たちに愛されている熱海。自然がおりなす景観美を生かしたイベントや作品展示など熱海の芸術祭を街中で開催します!

### ●月の道 新能(MOA 新能)

幻想的な月の光と、かがり火の中で舞う海辺の新能は全国でも唯一です。大自然の美しさの中で日本伝統文化を心ゆくまでお楽しみいただけます。

日時: 10月7日(土) 17:30~ 場所: 熱海サンビーチ特設舞台



月の道 新能



香港レーザーライトショー

### ●熱海初! レーザー&スーパーライトショー

香港、シンガポールで行われているようなレーザーライトショーを熱海の海岸で実現します。レーザーやスーパーライトで演出される熱海海岸は神秘的な世界へと皆さんを導きます。

日時: 10月7日(土) 20:30~

場所: 熱海湾

### ●ATAMI ART EXPO 2017

国内外で活躍する熱海ゆかりの一流の芸術家たちが繰り広げる絵画、陶芸、彫刻、ファッションなどの作品が街中に展示されます。

日時: 10月13日(金)~15日(日) 場所: 市内10カ所(起雲閣など)

### ●熱海梅園アート・クラフトフェスティバル

熱海梅園を散策しながら「本物と出会う」をキャッチフレーズに、全国から個性あふれる工芸作家が集まり、出店する手づくり工芸作品の魅力を身近に感じることができます。

日時: 10月20日(金)~22日(日) 9:00~16:00(雨天決行) 場所: 熱海梅園 入場無料



アート作品展示

◆お問合せ 観光推進室 TEL 0557-86-6195

見

日本一遅い紅葉が楽しめる  
「熱海梅園もみじ祭り」

11月11日(土)～12月3日(日)



早咲きの梅が開花する熱海梅園は、日本一遅い紅葉が見られるスポットとしても知られています。期間中は、熱海温泉が楽しめる「足湯」や、夜の幻想的な風景が楽しめる「もみじライトアップ」もオススメです。

- 足湯オープン 10:00～16:00
- もみじライトアップ 16:30～21:00

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

遊食

船釣り体験・干物づくり体験教室など  
『熱海おさかなフェスティバル』

11月4日(土)・5日(土) 9:00～15:00



市街地からほど近い熱海港海釣り公園にて、第7回「熱海おさかなフェスティバル」を開催。貸し竿・エサつきで気軽に参加できる「船釣り体験(有料)」や自家製の干物をお土産にできる「干物づくり体験(有料)」など、楽しいイベントが盛りだくさんです。

浜焼きコーナーや、地場産品などの出店もあるので、ぶらっと寄ってみるのも楽しいです。

また、各日の11:00から味噌汁無料サービスが先着300名に振る舞われます。

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

見

酒井理恵子の  
熱海百景絵はがき原画展

8月1日(火)～9月29日(金) 9:00～



熱海で育った挿絵画家酒井理恵子氏が「ふるさと熱海」を描いた25景の絵はがきの原画展を起雲閣で開催しています。

まだ、熱海の知られざる場所や酒井氏独自の視点で描かれ作品は、新しい熱海を発見していただけるでしょう。

◆お問合せ 起雲閣 TEL 0557-86-3101

食

南熱海の旅館の自慢の味  
『南熱海お宿グルメフェスタ』

9月30日(土) 11:00～15:00  
10月1日(日) 10:00～15:00



長浜海浜公園にて、南熱海網代温泉旅館の板長たちが作る絶品料理を味わえるイベントを開催。開催月ごとにテーマが決められ、それにそったオリジナルメニューが作られます。旅館それぞれの板長自慢の味をご堪能ください。

◆お問合せ 南熱海網代温泉旅館協同組合 TEL 0557-68-0140

まだまだ、ある。イベントカレンダー

9月

- 10日 魚祭り(熱海魚市場)
- 16～18日 秋の大感謝祭(マリンスパあたま)
- 18日 秋季海上花火大会(熱海湾)
- 30・1日 湯前神社秋季例大祭 湯まつり  
(湯前神社および熱海駅前)

10月

- 1日 海辺のあたまマルシェ(銀座通り商店街)
- 4日 仲秋の名月伊豆山歌会(伊豆山神社ほか)
- 9日 秋季海上花火大会(熱海湾)
- 29日 海辺のあたまマルシェ(親水公園)

11月

- 3日 定期演能会(MOA美術館能楽堂)
- 12日 秋季海上花火大会(熱海湾)
- 11・12日 網代温泉ひもの祭り(網代大縄公園)

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222



モデル・ウォーキング講師  
田中レーヌさん

ー1971年からモデルをはじめ、1981年にパリコレクションで世界モデルデビュー。パリやニューヨーク、東京を拠点とし、ファッションモデルとして君島一郎氏をはじめクリスチャンディオールなどの世界で行われるコレクションに出演。現在、熱海市在住で、モデル・ウォーキング講師として活動をしている田中レーヌさんにお話を伺いました。

ーモデルをはじめたきっかけー

**田中** 街を歩いていたときにファッションデザイナーの稲葉賀恵さんにスカウトされました。はじめは、何も分からずヘアもメイクも全部直され、コレクションに出たのがモデルの第一歩。そこから、ファッションデザイナー君島一郎氏との出会いをきっかけにパリ、ニューヨークなどのコレクションにも出演しました。世界各国から出演する180cm以上のグラマラスな金髪モデルたちに、はじめは、圧倒され落ち込んだりもしましたが、ちょうどオリエンタルブームで日本人のモデルが必要とされ「日本人には日本人の良さがある」「絶対に負けない」という気持ちで自信を持ってモデルをすることができました。



衣装仮縫いの様子  
左:故 君島一郎氏

ー熱海に住んだ理由ー

ー熱海に住んだ理由ー

**田中** 熱海には別荘をもっていて年に1度位しか来ていませんでしたが、結婚を機にスローライフを楽しもうと5年前に東京から引っ越しました。しかし、その2年後主人が亡くなり東京に戻ることも考えましたが、海、山、川、どの角度から見てもステキなロケーション、温泉、空気すべてに癒される熱海が大好きで離れられなくなりました。



ファッションショー発表会

ー熱海でウォーキング教室やファッションショーを開催したいー

**田中** 現在、モデル経験を活かしウォーキング講師をしています。生徒さんは、年齢はさまざまに「きれいに魅せる」ウォーキングを教えています。子どもからご高齢の方まで出演するファッションショーも開催しています。年齢に関係なくカッコよく歩くことは、自信となりオシャレをしたり、積極的に外に出るようになったりと生活を楽しむことにも繋がります。生徒さんのはつらつとした姿を見ていると嬉しくなります。熱海では、ウォーキング講師として市の人材バンクに登録をしました。今後、熱海で教室などを開き、ムーンテラス、美術館など熱海のステキなロケーションを活かしファッションショーができればと思います。こんなに素晴らしい熱海にさせてもらうのだから何ができたなら良いなと思っています。

ー熱海はオシャレでカッコよい街ー

**田中** 熱海には、色々な人が集まっていてオシャレな方が多いのですが、お洒落をする場所が少ないと感じます。ランチやディナーなど、オシャレをして出かけるような場所をたくさん作ってほしいです。熱海は県内でも高齢化率が高い街と聞いていますが、海外では年輪（しわ）もオシャレだと言われていて素敵に年齢を重ねている人が多いです。しわは、その人の味。しわは隠すものではなくステキに魅せる。そんな年輪を重ねたおばあちゃんやおじいちゃんが居たらカッコよいですね。熱海は、それができる街だと思います。海外に負けないロケーションで 自然とオシャレができる街になればよいと思います。

ー最後に、田中さんの“熱海のココスキ!”を教えてくださいー

**田中** アカオハーブ&ローズガーデンのバラの時期は最高ですね。MOA 美術館もリニューアルして一段と素敵になって1日中いても飽きない場所です。熱海港から見る船も好きで海の景色にマッチングしていますね。あとは、起雲閣の雰囲気と作りはすべてがモダンで大好きで、文豪が愛したところを身近に感じお庭を見ながらお茶をいただくひと時が至福のときです。また、起雲閣は、日本茶の教室やシャンソン教室などが開催され、素晴らしい環境の中でお稽古できることにいつも感激しています。



起雲閣 庭